

# がん情報サロンボード

2019/03/25

がん情報サロン 富田 明人

## がん診療連携拠点病院の現況

がん対策基本法が成立し、全国どこでも質の高いがん医療の提供を目指して整備が進められてきましたが、がん医療の更なる充実を目指して、今回拠点病院等の指定要件の見直しが行われることとなりました。今回のポイントは診療機能による拠点病院の分類、チーム医療の更なる推進、病院完結型から地域完結・循環型医療⇒地域連携の推進、医療の安全の更なる推進を図るため医療安全管理部門の設置等である。

この度がん診療病院等の整備について指定要件の見直し等の検討がなされ、地域がん診療連携拠点病院の中から松江市立病院は高度な機能を有し、最適な医療を提供できる病院として高度型として指定推薦を受けた。

がん診療連携拠点病院の診療状況										
医療圏名	病院名	年間患者数の状況		院内がん登録数 (年間) 500件以上	手術件数 悪性腫瘍の手術件数 (年間)400件以上	がんに係る薬物療法 のべ患者数 (年間) 1,000人以上	放射線治療 延べ患者数 (年間) 200人以上	緩和ケア チームに対する新規診療 依頼数 (年間 50件以上)	診療の割合 当該2次医療圏に居住するがん患者の診療の割合 2割程度	相談支援センター 相談件数 (年間)
		年間新入院がん患者数	年間新入院患者数に占めるがん患者の割合 (%)							
1松江	松江市立病院	(1800) 1872	(21.3) 21.5	660	(427) 484	(2991) 2728	(191) 206	254	29	2,279
2松江	松江赤十字病院	(2716) 3197	(19.3) 22.5	1,114	(684) 907	(1234) 1425	(137) 202	52	44	377
3出雲	島根大学医学部付属病院	(3644) 3722	(27.1) 27.0	1,433	(1055) 1029	(1098) 1218	(378) 360	118	35	2,095
4出雲	島根県立中央病院	(2136) 2102	(17.6) 16.8	937	(815) 723	(1069) 1071	(213) 253	82	29	1,114
5浜田	浜田医療センター	(1977) 1912	(28.9) 27.8	750	(761) 691	(1846) 1742	(131) 138	180	74	263
				4894				686	211	6,128

\*( )内は平成29年11月提出の数値、下段は平成30年12月提出の数値 (資料 島根県)

がん診療連携拠点病院の年間新入院患者数は 12,805 人微増であった。

がん登録は島根大学医学部付属病院が 1433 件、最小の登録は、松江市立病院の 660 件であった。

手術数では、島根大学病院が 1,029 件で最も多く、松江市立病院は 484 件でいずれも国の基準値（年間 400 件）をクリアしている。

薬物療法では松江市立病院 2,728 人、で最も多く浜田医療センター1,742 人、松江赤十字病院 1,425 人、島根大学病院 1,218 人、島根県立中央病院が 1,071 人と国の基準値 1,000 人を超えている。

一方、緩和ケアチームに対する診療依頼数は松江市立病院 254 件、島根大学 118 件、浜田医療センター180 件でこれらの病院は緩和ケア診療が充実しているようだ。

相談支援センターの取組もさまざまである相談件数の多いのは松江市立病院、島根大学病院、島根県立中央病院で件数が多い。相談センターの認知度や対応が反映されていると思われる。

ここにきて各病院の特色や格差がみえてきた。島根県は東西に長く離島もあり厳しい環境であるが、患者に寄り添った医療を実現するためにも島根独自の医療の施策が求められる。

（富田）